

2025 年 7 月 13 日（日）第二礼拝「日本宣教の可能性」ヨエル 2 章 28 節

私たちが生きるこの終わりの時代に、神様は神様の霊をすべての人に注がれると約束されています。その時、神様は預言や夢や幻を通して神様の民を呼んでくださいます。

第一番目、預言です。神様の霊が御言葉を通して語られる時、私たちは預言を受け取ります。ロゴスは、記録された御言葉です。祈りながら準備された説教の中で御言葉を聞く時、聖霊様が直接私たちに語ってくださり、その御言葉がレーマ(自分に語られる御言葉、預言のことば)となり、私たちの人生を大きく変革してくれます。貧困の中、牧会をされていたオーラル・ロバート牧師がある日聖書を読んでいた時、「愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得て…すべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。(Ⅲヨハネ 2 節)」という御言葉がレーマとして彼の中に入ってきて、「自分は神様に愛されている、神様は本当に良き神様だ」と信じることができたそうです。その時から彼の牧会が変わり、多くの人々が救われて、各地でリバイバルが起こっていきました。このように、ロゴスの御言葉が聖霊様によって語られる時、レーマとなり、私たちの人生を大きく変えるのです。

第二番目、夢と幻です。聖書の御言葉は「文字に表わされた神様のことば」ですが、聖霊様が与える夢や幻は「神様の絵のことば」です。ヨセフやパロのように神様からの夢を見た人は旧約聖書に十二人、新約聖書に三人出てきます。その中で神様を信じない人は九人、神様を信じる人は六人です。このことから、神様は神様を信じない人たちに夢を通して多く語られるということが分かります。また、この夢の解釈を求めて、もしもシャーマンや占い師のところに行くなら、マインドコントロールされて自由を奪われてしまうでしょう。逆に、聖霊様は自由を与えてくださるお方であり、イエス様によってすべての夢を解釈(解決)することができます。例えば、罪を犯す夢を見た場合、イエス様の前で罪を告白し、悔い改めるならば、血潮で赦されます。呪いの夢の場合、イエス様が十字架で呪われた者となられ、私たちに呪いから解放し、アブラハムの祝福を与えられたと宣言しましょう。病の夢は、イエス様が私たちの患いを身に引き受け、イエス様の打たれた傷によって癒されたと宣言することができます。死ぬ夢はイエス様のよみがえりを信じることで解決できます。

第三番目、日本宣教の可能性です。イランは、約二十%の人々がクリスチャンです。神様は夢を通してイランの人々に現れてくださり、それが多くの人たちの救いに繋がりました。対照的に西洋人は聖書を知っているので、イエス様が彼らに夢で現れることは稀です。また、日本人は皆聖書を知らず、伝道のチラシを見ても無関心です。その理由は、日本人には漠然とした恐れがあるからです。また、過去の歴史において踏み絵や五人組制度に対する恐れがDNAを通してその子孫にまで流れています。このように恐れ強い日本人ですが、もしも夢で神様の啓示を受け取るなら、それがイエス様を伝える機会となるでしょう。自分の罪を悔い改め、イエス様を信じるなら、皆救われ、変えられます。たとえ悪い夢を見たとしても、イエス様によってすべては益に変えられます。アーメン！